

『竹刀検量』について

1 竹刀検量全体計画

(1) 検量時間と設置場所について (予定)

日	時間	場所	備考
7日 (木)	14:00 ～ 16:30	サブアリーナ内の入り口側 2 検量所	前日検量 団体・個人両方の選手
8日 (金)	9:30 ～ 個人戦終了まで	サブアリーナ内の入り口側 8 検量所 ※9:30～12:00 は個人戦 出場者優先	大会1日目 団体・個人両方の選手
9日 (土)	9:00 ～ 10:00	サブアリーナ内の入り口側 8 検量所	大会2日目 団体の選手

2 全体の確認事項

1 竹刀の刃部や側面（竹部）に氏名の彫りものがある。

※ 華美にならないのであれば問題なし。

華美の例

- ・校章や竹刀メーカー、竹刀の商品名等以外の彫りものがある。

2 柄革は滑り止め（ゴム等）や模様等のない無地のもので、白色とする。

※ 柄革の上端(折り返し部分)の色・模様については、特に制限を設けない。

※ 滑り止め(ゴム等)のついた柄革の使用は禁止する。

3 自身で組み替えた竹刀は使用しない。（安全性確保のため）

3 竹刀検量の観点一覧表

項目	順	部分	観点	詳細	対応
長さ・太さ・ちくとう	①	長さ	- 検量キットで確認する - 中結が全長の約 1/4 の位置にある	- 全長 114 cm以下 (男女共通・付属品も含む) 1/4 の位置=28.5 cm± 5 cm を目安とする	不合格の竹刀は預かる
	②	太さ	- 検量キットで確認する - 先革の太さ (男子: 25mm 女子: 24mm 以上) - 先革の長さ (50mm 以上)	- 検量キットに置いた際に自重で下まで落ちないこと - 弦を上にして落ちたら不合格 - 先皮が必要以上につぶれていないこと	判断が難しい場合は主任確認
	③	ちくとう	- 検量キットで確認する - ちくとうの太さ (男子: 20mm、女子: 19mm 以上)	竹刀先端より 8 cm の部分で測定する	上記と同様
重量	④	重量	男子 440g 以上、女子 400g 以上	- はかりで確認する ※はかりの誤差がないようにする	修復できるものは返却して再検量
容姿	⑤	全体	- 折れ、割れ、ささくれ、虫食い、傷 - 竹に隙間がある	- 削らないといけないもの - 先ゴムが大きすぎる - 縦に見て竹刀の隙間から向こうが見えるもの(1mm程度の隙間)は不合格	不合格の竹刀は理由を述べて預かる
	⑥	異物	柄を下にして、床に数回落とす	ちぎり、先ゴム以外が入っている	
	⑦	先皮	- 先皮が破れている - 先皮が薄くなっている - 先皮と竹の間に隙間がある	- 隙間から先ゴム・竹が見えている - 先皮が大きいものを使用している - 回転する	判断が難しい場合は主任確認
	⑧	中結	- 緩んだり、切れたりしている - 固定されていない	- 簡単にほどけてしまわないもの - 軽い力で回した時、90度以上回転する	
	⑨	柄	- 破れている - 柄が必要以上に濡れている	これら以外の部分→検量係長に確認	
検印	⑩	検印	刃部のつば元に検印シールを貼る	- 男子は水色、女子はピンク色 - 弦にかかるように貼り、重なっている - 場所に透明テープを貼る	
返却	⑪	返却	合格の竹刀と不合格の竹刀を混同せずに返却する	不合格の竹刀は引換証を渡す	